同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

①同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靭な経営体質をつくることをめざします。

おきなわ同友会しんぶん
ニライ みらい

2022年（令和４年）２月号
No. 407
発行：沖縄県中小企業家同友会
編集：広報委員会

〒901-0152
沖縄県那覇市字小禄1831番地1　沖縄産業支援センター603号
☎.098-859-6205㈹　FAX.098-859-6208
http://www.okinawa.doyu.jp
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp

21世紀に輝く No.209

EM一直線の叩き上げ社長の挑戦

㈱EMウェルネスリゾート

代表取締役社長　西渕　泰 氏
（中部支部）

「あれ、コスタビスタってホテル名が変わったの？もしかして運営会社が変わった？」運営会社が変わったわけではないのでご安心ください。もっと「とがった」ホテルにと、西渕社長を中心に、ホテルのさらなる飛躍のため、圧倒的な知名度の「コスタビスタ」という名称はあえて終了し、旧コスタビスタ沖縄ホテル＆スパは二〇二一年の十月から「ＥＭウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート」に生まれ変わりました。

ＥＭ（有用な微生物の集まり）で社会の課題を解決する

「ＥＭのことをもっと知りたい」西渕社長のＥＭへの情熱は高校生のときから始まっていました。

一冊との出会いが人生を決めた

西渕社長は仙台出身。高校生だった西渕さんが家にあった比嘉照夫教授の本を手に取ると、そこには、ＥＭ（有用な微生物の集まり）の力で農業や環境や健康の問題を改善できること、それにより貧困などの社会の課題を解決できることが書かれていました。西渕社長は迷わず本の著者である比嘉照夫教授がいる琉球大学の農学部に進学し、それまで特に縁がなかった沖縄にやってきました。西渕さんは大学院まで進学し、比嘉照夫教授のもとで農業を研究し、修士課程を修了して株式会社ＥＭ研究機構に就職しました。ＥＭ研究機構は、比嘉照夫教授の教え子たちが、今でいう大学発ベンチャーのようなかたちで設立した会社です。西渕社長は国内現場の勤務後、同社のタイ事務所で勤務し、アジア中でＥＭ技術の普及活動に取り組むなど、まさに農業を始めとした社会の課題解決のための活動をしてきました。

二〇一一年には東日本大震災の復興支援に取り組み、その後は現場を知っている人が本社で管理に携わった方がよいという役員の推薦で、二〇一三年に沖縄本社勤務となります。その手腕が買われ、まだ不安定であったホテルの事業を任せるとのことで、二〇一五年には、ホテル事業を安定させる担当役員としてホテルの副総支配人となりました。社員がやりがいをもって働けるような環境づくりと、業績に関する全社での情報の共有の仕組みづくりに取り組みました。

さらに、ホテルの運営会社である株式会社ＥＭウェルネスリゾートは、親会社であるＥＭ研究機構の経営理念をそのまま使っていたため、新たな経営理念が必要だと感じました。そこで、社員を巻き込んで経営理念や行動指針を作成し、理念研修を行い、事業計画を作成していきました。当時、沖縄観光は右肩上がりで、成果は出していたものの、ホテルの将来のためには本当の意味での理念が必要であると考えました。

そして、二〇一九年には、ＥＭウェルネスリゾートの代表取締役社長になります。西渕社長は、まだ経営理念と現実の営業が微妙にずれている、と感じていました。代表取締役となってからは、まずはこの微妙なずれの改善が課題であると考えました。

また、ホテルを巡る環境も変わっていました。具体的には、お客様のホテルの予約が旅行会社主導から個人によるインターネット予約に変わり、ホテルも民泊も増え、ホテルの供給が過剰になり、価格競争に巻き込まれる状況でした。そこで、ホテルの特徴である「ＥＭを活用して心と体を整える」というコンセプトを、ＥＭを知らない方にも伝わる価値としてウェブ上でも認知してもらえるような取り組みを強化しました。

「コロナ」の逆境を糧に！

社長になってから一年で、津波のようにコロナ禍が押し寄せ、ホテルは一時休館せざるを得なくなりましたが、西渕社長はむしろこの逆境を利用しようと考え、これまでの課題であった経営理念と現実との微妙なずれへの取り組みとして、オンラインも組み合わせて研修を行い、休館期間の二ヶ月の間に三年分くらいの理念浸透と業務改善をする意気込みで取り組みました。

そして、二〇二一年十月には、コンセプトにとがっていくなら思い切って名前も変えた方がいいだろうとのことで、ホテルは「コスタビスタ沖縄ホテル＆スパ」から「ＥＭウェルネス　暮らしの発酵ライフスタイルリゾート」へと変えたのです。

新しいホテル名称には、微生物や発酵の技術を日々の生活の中で取り入れていくことで、健康で自分らしくイキイキと暮らしていくライフスタイルが実現できることを滞在を通して体験し、帰宅後も実践して欲しいという願いが込められています。最近では、ホテルのコンセプトを理解してもらえるお客様が増え、インターネット上の口コミも目に見えてよくなっています。

高校時代から始まった西渕社長のＥＭへの情熱はまだまだ続きます。（ぎのわん法律事務所・山下裕平）

《会社概要》

㈱EMウェルネスリゾート
代表取締役社長　西渕　泰 氏
〈中部支部〉
所在地／北中城村喜舎場1478番地
ＴＥＬ／098－935－1500
業務内容／飲食・宿泊

茶論

「バーチャル取締役会」ってご存じだろうか。企業の業務遂行方針を決定する大事な取締役会を、仮想的・疑似的に行うなんて・・・と、訝しく思われる御仁もおられるでしょう▼最近、那覇支部の一部や若手経営者部会でも頻繁に開催されていて大変に好評であるとのこと。年末に開催された那覇東地区のその会合に筆者も参加させてもらった▼プレゼン報告者はもちろん仮想役員として出席したメンバーも多くの“気づき”を得たようだ▼二〇〇八年頃、那覇北地区会員Ａ氏が新商品の拡販に悩んでいると当時の地区長に打ち明けたのが事の発端。日頃から「自主・民主・連帯の精神」での地区運営を心掛けていた地区長は、さっそく地区例会でＡ氏のプレゼンを企画。出席する地区メンバーには「これからの二時間だけＡ氏の取締役となって有意義な提言をしてもらいたい」と▼皆、楽しく活発に発言。「消費者のニーズを理解していない」「マーケット調査が甘い」「最初は高価なオプションをつけろ」とか「プレゼンする貴方の表情が固く滑舌が良くない」等々。支部幹事長であった私も予想外の盛況に驚いた▼Ａ氏も自社内では聞けない異業種経営者の鋭くも温かい助言に感動し、一言も反論せず傾聴。結果その商品はヒットしたとのこと▼参加者も、志が同じ仲間へ貢献できた喜びと非日常の体験が成長の糧になったようだ▼「社長の学校」である同友会。そのすべての活動に無駄は無いし、無駄にしないのは貴方しだいです。（仲地治）

社長・社員共育塾　第４講
「アセロラ」で地域貢献・社員を幸せにする経営

報告する並里氏

社長・社員共育塾第四講が十一月十五日に沖縄産業支援センターとＺｏｏｍ併用で開講され、七十六名が参加しました。

今回は、農業生産法人㈱アセローラフレッシュの並里康次郎社長による講義が行われました。

社長・社員共育塾全体の風景

母親から「世のため、人のため、地域のために生きなさい」と教えられ育った並里氏。両親が「本部町に新しい産業をつくりたい」という想いではじめた事業を引き継ぎ、「アセロラ」という商品を通じて、地域に貢献し、社員を幸せにしたいという想いで経営に携わってきました。コロナ禍の苦境においても、理念経営を志し、初めて経営方針発表会を開催するなど、社長としての覚悟を決め、経営再建に取り組んでいく意気込みを具体的な事例を交え、報告されました。

グループ討論は、「世のため人のため、地域のために会社ができること、自身が取り組んでいること」をテーマに活発な意見交換が行われました。

受講者からは「アセロラや本部町にかける並里一族の想いの深さや愛情を感じた」「経営者として覚悟を決めることの重要性を再認識した」などの感想が寄せられました。（事務局）

ゆいま～る人材採用・育成学習会
求職者に求められる企業の在り方

ゆいま～る人材学習会

十二月二日、Ｚｏｏｍにて、ゆいま～る人材採用・育成学習会が十一名の参加で開催されました。

「求人媒体企業と考える中途採用の準備と方法」をテーマに求人誌ジェイウォームを発行している冒険王㈱・社長の佐和田安行氏に講話いただきました。

国内の少子高齢化が進む中、二〇一六年の国土交通省が公表した年齢別割合では、全産業の五十五歳以上が二九・三％、二十九歳以下が一六・四％、建設業では五十五歳以上が三三・九％、二十九歳以下が一一・四％と働き手の少子高齢化が特に進んでいる業界となっています。

講師からは「人口減少が進む中で若手採用が難しくなっている」、「現社員の満足度・定着率が最重要で、働き手が興味を持つような工夫が大事」、「隗より始めよ、現社員が安定してこそ新人も増えていく」、「優秀な人材の周りには優秀な人材がいるリファラル採用も検討が必要」と講話いただき、今後の経営課題解決の一助となる充実した勉強会となりました。（タマキハウジング㈱・玉城英之）

碧の会
オンライン望年会に七十名が参加！

十二月七日、碧の会望年会が開催されました。昨年度に引き続き、オンライン開催となりましたが、今年は委員会ごとのサテライト会場（会員企業店舗や宿泊施設など）で、数カ所に分け少人数で集うというスタイルを実施しました。

那覇、中部、南部、さらに宮古支部は男性会員も多く参加するという盛況ぶりで、大いに盛り上がりました。

サテライト会場

内容も会員交流チームが華麗に各拠点を繋いでいきプレゼントが当たるゲームあり、グループトークありという充実ぶりで、画面越しからでも楽しさが伝わってくる碧の会らしい望年会となりました。

新会員やゲストからも大いに楽しめたという声が多く聞かれ、最終的な参加者は七十名！参加者数からも熱気が伝わる望年会となりました。㈱カリタス・根橋理香）

2021年度　第5回新人フォローアップ研修会
経営理念の重要性を学ぶ

友寄 利津子氏

十一月二十五日、沖縄産業支援センターとＺｏｏｍの併用により、第五回新人フォローアップ研修会が開催され、受講生七十八名が参加しました。

今回は、「経営理念について」のテーマで、ＮＰＯ法人ライフサポートてだこの友寄利津子氏が講義を行いました。

「経営理念がどうして必要なのか。効果、メリットはどういうものなのか」自社の理念を紹介しながら説明されました。

グループ討論では、「自社の経営理念と仕事、それを自分の成長とどう繋げていくのかが重要ではないか」などの意見が挙げられました。

「経営理念とは」の問いだけでは分かりにくい部分が多くあると感じますが、理念とは、会社の在りたい姿だと分かりやすく伝えており、経営理念について深く学べる機会となりました。（事務局）

中部支部地区対抗パークゴルフ大会
会員同士で気軽に楽しく交流

十一月二十日、読谷村にあるユンタンザパークゴルフ場にて、中部支部地区対抗パークゴルフ大会を十五名の参加で開催しました。

当日は晴天にめぐまれ、日ごろのストレスや運動不足を解消しながら、気持ちよくプレイすることができました。またプレイ後は、簡単な軽食を食べながらスコアを確認し、会員同士の交流を図ることができました。

パークゴルフは、道具を準備することなく手ぶらで参加することができ、コロナ禍で久々の対面形式でのレクリエーションとあって、参加者たちからは、「気軽に楽しくプレイができた」「意外とスコアを伸ばすのが難しい」「また定期的にやりたい」といった感想がありました。

定期開催になった中部支部パークゴルフ

中部支部では、今後は「会員交流パークゴルフ大会」とタイトルを変更し、会員同士が気軽に参加できる「部活」として三か月に一回ほどのペースで定期開催する予定です。一般会員やゲスト参加を含めて、広く会員交流の一助となるイベントとなりますよう、中部支部役員一同努めてまいりますので、皆様のお気軽なご参加をお待ちしております。

次回は、一月二十九日に開催予定です。（平宮産業㈱・上地雄也）

社労士・コンサルタント　青山喜佐子の　知って得する　シリーズ165
副業・兼業してもいいですか？

「コロナ休業の間、副業・兼業してもいいですか」と労働相談です。「副業」とは本業以外の時間に別の仕事に就くことで、「兼業」とは本業のほかに仕事や事業を行うことです。ITやオンラインを利用して多様な働き方ができる時代になっています。

副業・兼業で働く社員のメリットとして、①収入が増える。②離職せずに別の仕事の経験ができる。③自分がやりたいことに挑戦してキャリアを広げることができる。などがあります。

会社側のメリットとしては①社内では得られない知識・スキルを獲得することができる。②優秀な人材の獲得・流出防止ができ、競争力が向上する。③社員が社外から新たな知識・情報や人脈を入れることで、事業機会の拡大につながること等があります。

反面課題として「労働時間が長くなり、本業に影響が出るのではないか」「業務上の情報漏洩に不安がある」等の理由で兼業・副業を禁止する企業が多かったのですが、厚生労働省では２０２０年９月に「副業・兼業の促進に関するガイドライン」を改訂発表。副業・兼業を促進する方向です。

企業の対応を検討する

企業として兼業・副業を禁止する場合は①労務提供上の支障がある場合、②企業秘密が漏洩する場合、③会社の名誉や信用を損なう行為、④競業により、企業の利益を害する場合などを、就業規則で明確に定める必要があります。

これからの働き方について社員と検討する時代かもしれません。

〈プロフィール〉
社会保険労務士
日本産業カウンセラー
大学非常勤講師
市町村行政改革推進委員など
社会保険労務士法人 オフィスあるふぁ
TEL/098-870-6686

青山喜佐子（あおやまきさこ）
（社会保険労務士法人オフィスあるふぁ所長）

第26期同友会大学第12講
先人たちの苦しみと努力に想いを馳せる

第二十六期同友会大学第十二講（最終講）が十一月二十日（土）平和祈念資料館にて開催されました。

「琉球の歴史と先人たちの生き方から学ぶうちな～ぬ肝心」をテーマに、てぃーだ観光㈱取締役でバスガイドの崎原まゆみ氏が講話しました。今回はコロナ禍で就職・転職された新人バスガイドお二人も帯同し、講義の一端を担いました。

これまで幾多の困難を乗り越えてきた先人たちの苦しみと努力に想いを馳せました。沖縄は自然を大切に生活に取り入れていることや、黄金言葉や三線の哲学、空手なども紹介しました。

また、平和の礎を訪れ、七十五年前の摩文仁の崖や海上に敵艦が埋めつくす様など説明を聞き、あらためて平和の中にこそ安心して生活できる事をかみしめる講義となりました。（事務局）

講師の崎原まゆみ氏

浦西支部例会
碧き国の情報戦術 ～コミュニケーションのチカラ～

十二月十日（金）。年末の浦西支部例会は、琉球史芸人嘉数仁然氏を招き、テーマ「碧き国の情報戦術」を開催。二十九名が参加しました。

万国津梁の鐘の銘文「琉球国は南海の勝地にして…万国の津梁となし」から小さな島の重要な位置づけの世界観に敬服します。

英国軍艦到来時には、乗組員との交流で言葉をマスター。別れ際には、相手から「イイドゥシグワー（よき友）」と涙した歴史の事実。また琉球国の資源やアイデアを活用して、大国中国の明や清との朝貢貿易の数々。したたかなコミュニケーション力で世界を相手にする先人の宝を学びました。（社会保険労務士法人 オフィスあるふぁ・青山喜佐子）

話に聞き入る参加者

ゆいま～る部会例会
建物で消費するエネルギーゼロ ZEB（ゼブ）を学ぶ

十二月十五日、ZEBの取り組みについての内容でゆいまーる部会例会を二十四名の参加で開催し、沖縄県未来エネルギー整備協会の知名清氏を講師としてお招きしました。沖縄県内でのZEBの取り組みの具体的な内容や効果についての話と、近年は、民間でも取り組みを始める企業が増えているということ、また、補助金を利用できることを知っているのにも関わらず、環境面の事を考え、補助金の申請をせずに取り組む企業も増えてきているという、刺激的な話もありました。

例会後、忘年会を開催し、ゆいま～るに所属する企業に食事を提供いただき、さらに交流が深まりました。

長引くコロナの影響で、様々な活動が制限されるなか、対面で活動できることの意義を感じられる会になりました。（㈱設備技研・平良淳）

久びさの対面での部会例会

中部支部
二年ぶりの忘年会を盛大に開催

十二月十日、暮らしの発酵ライフスタイルリゾートにて、まだ感染拡大に余談を許さない中、感染予防をしっかり行ったうえで、中部支部忘年会を四十三名の参加で開催しました。

一瀬宗也支部長の開会挨拶から始まり、司会の與崎文美副支部長が急きょ発案した、猫の絵のコンテストで盛り上がりました。

また、余興は声が小田和正似のシンガー久高さんのミニコンサートや、新会員さんの紹介、抽選会では景品が全員総当たりなど、タイトなスケジュールではありましたが、晴れやかな時間を過ごせ、二年間の厄払いとなりました。

久々に会場で会った会員さんにほっとする場面もあり、新会員さんも数名ご参加いただき、とても充実した忘年会となりました。（アントレ・阿嘉久美子）

南部支部企業視察
会員企業の魅力発見！

南部支部では十二月三日（金）、八重瀬町にある㈱トリム・リサイクル工場と㈱宮昌工業への企業視察を行いました。

まずは、㈱トリム・リサイクル工場へ。ここは、廃棄されたガラス瓶を原料に、人工の軽石「スーパーソル」を製造しています。

説明を受ける参加者

製品の特徴や活用事例などをレクチャーいただき、工場内を見学。原料、製造方法、製品、どれをとってもお伝えしたいことばかり。ぜひ「スーパーソル」に注目してください。

次は、六月に本社と工場を八重瀬町に移転したばかりの㈱宮昌工業へ。

建物の鉄骨の製造が主力事業なだけに、敷地の広さと工場の大きさに圧倒されます。鉄は温度で変化する建設資材。県内の主要な建物の鉄骨を手掛けているだけに、その鉄を操る技術の高さに興味津々でお話を伺いました。

その後の与那原町「あかばな」での支部忘年会には、十七名が参加し、久しぶりに参加した会員を含め、懇親を深めることが出来ました。（伴走舎・牧野誠）

わが社のポリシー 第305回

㈲三大食品
代表取締役社長　普天間 邦光 氏

㈲三大食品は、業務用食材の卸売・小売、仕出し料理の製造・販売を行っている会社です。一九八二年に義兄の現会長が創業の後、二〇一一年に普天間邦光氏が経営を引き継ぎ、社長に就任しました。

社長に就任した当初は経営のことは全くわからず、まず決算書を読めるようにすることからスタートします。決算書が読めるようになって愕然としたのが、利益、内部留保が想像以上に少ないこと。限られたお金をどこに投じればいいかを考えながら経営の勉強を続け、計画立案とその実績管理の仕組みと体制を作り上げました。その結果、社員の待遇改善と内部留保数倍増ができました。今では朝の数字のチェックから普天間氏の毎日が始まります。

「共存共栄」の理念で お客様・社員と共に成長

理念の重要性も学び、「共存共栄」を理念に据えます。しかし、会社の理念が社員さんにとっては他人事と感じた普天間氏は、理念をより具体的にした「三つの心」を毎日唱和しながら、さらに自分事として部署ごとの理念を社員さん達に決めてもらっています。また、社訓、行動指針、管理者の責任を定めて社員への浸透を図るなど、理念を中心とした経営をされています。

普天間 邦光氏

業務内容は、居酒屋・弁当屋・保育園・老健施設といった大きな低温保管庫を持たない小・中規模のお客様が中心。毎日のように少量の注文を受けて小口配送しています。そんなお客様の冷蔵庫代わりになるようなきめの細かいサービスは、理念の「共存共栄」が具現化したものでしょう。社長就任後の十年で、理念と計画・実績管理を両輪とした経営を確立した普天間氏はいま、後継者の育成に取り組んでいます。（伴走舎・牧野誠）

《会社概要》
㈲三大食品
代表取締役社長　普天間 邦光 氏
〈南部支部〉
所在地／南城市大里字古堅929-1
ＴＥＬ／098-944-1733
事業内容／業務用食材一切卸売、小売、仕出し料理の製造・販売その他

文進印刷株式会社
本　社／〒901-0416　沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次706－4
TEL (098) 996-3356 (代)　FAX (098) 996-3357
那覇営業所／〒902-0074　沖縄県那覇市字仲井真201番地18　TEL (098) 855-2323 (代)　FAX (098) 996-3357
浦添営業所／〒901-2111　沖縄県浦添市経塚811-14　TEL (098) 879-9303 (代)　FAX (098) 996-3357
宜野湾営業所／〒901-2214　沖縄県宜野湾市我如古3-11-5 1F　TEL (098) 898-1055 (代)　FAX (098) 996-3357
沖縄営業所／〒904-2165　沖縄県沖縄市宮里２丁目１番３号　TEL (098) 937-8607 (代)　FAX (098) 996-3357
糸満営業所／〒901-0303　沖縄県糸満市字兼城473-10 グレイスコート102　TEL (098) 994-5777 (代)　FAX (098) 996-3357
うるま営業所／〒904-2215　沖縄県うるま市みどり町3-19-5　TEL (098) 973-5676 (代)　FAX (098) 996-3357
プライバシーマーク 24000306(08)

浦西支部企業（事業）プレゼン
教えて！会員企業どんなお仕事しているの？

浦西支部では新会員を始め、会員企業が何を生業としているのかを知り、連携が取れるようにと企業プレゼンが企画されています。

十二月十七日には㈱ちゃたん令和ガスの池宮城秀聡社長と、イノベスタ㈱の根路銘一亮社長より企業紹介が行われました。

企業の事業をプレゼンする

㈱ちゃたん令和ガスの池宮城氏は沖縄水産高校野球部出身で、礼儀やニーズへの応え方を教え込まれた事が今の経営にも生きていると語り、ガス事業は基よりレストランや民宿経営、そして野球少年たちの育成にも力を注いでいます。

イノベスタ㈱の根路銘氏は留学経験も豊富で、大手ECサイトの会社での経験を沖縄県内企業に特化したECサイト「TODOQ（トドキュー）」を十月より開設・運営しています。

那覇支部東地区バーチャル取締役会
新規事業七割、新たな挑戦

十二月二十三日、那覇支部東地区でバーチャル取締役会を開催しました。

バーチャルでの取締役

バーチャル取締役会とは、参加者が報告者の会社の取締役になったつもりで、改善点や新事業の見通しなどを語り合う会です。

今回は㈱アメニティ代表取締役社長の慶田盛克磨氏に「新規事業七割、既存事業三割の挑戦・・・～尽きないのは〝人〟の悩み～」のテーマで報告していただきました。慶田盛氏は二十歳でアメニティ入社、その後退社し大学進学、卒業後アメニティ再入社、そして社長就任という経歴の持ち主です。好きな言葉「覚悟さえあれば何事も成す」の言葉通り、外食が主だったアメニティでケータリング、お弁当、出張パーティーと次々新事業に挑戦してきました。

そして、コロナ禍で大きな打撃を受けた飲食業の今後の柱として「家事代行」「フィットネス」「水事業」を打ち出している。参加者はそれぞれの経験事例を軸に、慶田盛氏と活発な議論を交わしました。（㈱共栄環境・下田美智代）

県内企業の課題や、世界シェア率・市場調査の比較など、学びの多い企業プレゼンとなりました。（㈱リウデン・謝敷千恵子）

八重山支部ボウリング交流会＆忘年会
マイボール禁止ルールに大苦戦！

十二月十八日に八重山支部恒例のボウリング交流会＆忘年会があやぱにボウルと島料理楽園で開催され、会員や家族等十三名が参加しました。

ボウリング交流会は和やかな雰囲気でスタートしましたが、マイボール禁止ルールにより優勝候補者は大苦戦。そんな中、前年覇者の㈱ゆにばいしがきの津嘉山航社長と初参加の宮平観光㈱の宮平輝副支配人がハイレベルな優勝争いを展開。一進一退の攻防の末、宮平輝副支配人が優勝しました。

終始笑顔の忘年会企画

忘年会では、参加者全員に豪華賞品の贈呈が行われ、美味しい料理とお酒を囲みながら、ボウリングや支部三十周年記念事業の感想、次年度の支部づくりなどを語り合いました。

ボウリングから忘年会まで終始笑顔が溢れ、八重山支部の盛り上がりを実感できる集まりとなりました。（事務局）

北部支部
忘年会から「望年会」へ

十一月三十日、北部支部の望年会が昨年に引き続き「なり壱」にて開催されました。

今年は来年に期待と希望を持つという意味で、「忘年会」を「望年会」と表しました。昨年の司会はいまだ人気の衰えない「鬼滅の刃」の人気キャラクター伊之助に扮した金城氏（新垣産業）でしたが、今年は金城氏（新垣産業）と大森氏（㈱琉球若草）が、オリンピックで注目を浴びたピクトグラムに扮し、即興で競技のフォームを演じるなど、大いに盛り上がりました。

盛り上がった望年会

北部支部の望年会の司会は仮装が定番になりそうです。余興も行い、参加者全員で楽しみました。

今回は入会予定のゲストさんや、名護青年会議所の方々が多く参加し、同友会の雰囲気を感じてもらえたと思います。会員同士の交流も図られ、一年の締めくくりの良い行事となりました。（㈱琉球若草・大森陽介）

那覇支部
二年ぶりの忘年会に笑顔満載！

十二月十六日に那覇支部忘年会が歌姫（旧三線）にて二年ぶりに開催され、八十名ものたくさんの会員、ゲストの方が参加しました。

二年ぶりの開催でしたが、支部会員交流委員会を中心に運営し、大きなトラブルもなく行いました。

２年ぶりリアル忘年会

忘年会では、ゲームも企画し、地区長対抗ゲームを始めにカラオケや新会員紹介、大抽選会を行い、新会員紹介コーナーでは七名より自己紹介いただきました。

大抽選会では支部より豪華景品（蟹・肉・ワイン）や、参加者からご提供頂いた景品で抽選を行い、皆様に景品が贈呈され、最後は民謡ショーとカチャーシーで締めくくりました。

久しぶりの開催・交流で皆さん終始笑顔が溢れ、開催できてよかったと感じた忘年会となりました。（事務局）

うりずんビジネスコラボ＆忘年会
会員企業を知り、ビジネスマッチングに繋げる！

十二月十七日に民謡ステージ歌姫にて、うりずんビジネスコラボ＆忘年会が開催されました。今回は、「まずは会員同士がお互いの仕事を知り、ビジネスマッチングに繋げたり、人となりを知ることで気軽に話せる関係性をつくること」がテーマでした。

ビジネスコラボ＆忘年会

前段のビジネスコラボは、一グループ四名・一セット十五分を席替えしながら二セット行い、自己・事業紹介を行いました。事業内容だけでなく、プライベートの部分も知ることができ、有意義な時間となりました。

後半の忘年会も話が弾み、じゃんけん大会も盛り上がり、時間が足りないくらい盛り上がりました。

全部で三時間でしたが、楽しい時間はあっという間ですね。総勢四十三名、内ゲスト参加は五名でした。後日、数名から、入会・入部申込がありました。仲間が増えるのは、嬉しいですね。今後も、楽しい企画を行いましょう！（三重金属工業㈱沖縄事務所・上地裕介）

「りゅうぎんアプリ」の配信ついて

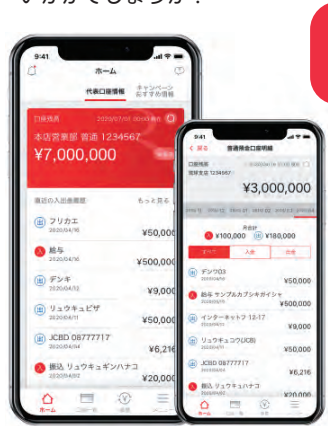
皆様は銀行アプリをご利用でしょうか。一般的に、アプリストアにある銀行アプリは２種類に大別されるようです。１つ目は、通帳アプリと呼ばれる残高や長期間の入出金明細を見ることに特化した紙通帳の代替となるアプリで、２つ目は、振替や振込といった店舗や ATM で手続きをするような各種銀行取引ができるアプリです。近年では、店舗を持たないネット銀行だけではなく、メガバンクや全国の地方銀行などの多くの金融機関で銀行アプリが提供されています。

琉球銀行では紙通帳の代替となる「りゅうぎん通帳アプリ」と併せて、銀行取引ができる「りゅうぎんアプリ」を好評配信中です。

「りゅうぎんアプリ」では預金残高の確認に加え、ローンや投資信託などの残高確認、同一名義口座間（普通預金・貯蓄預金）の口座振替を行うことが可能です。なお今後は振込などの各種銀行取引を中心に機能追加を行ってまいります。皆様もこの機会に銀行アプリをご利用してみてはいかがでしょうか？

【お問い合わせ先】
お近くの琉球銀行営業店
または琉球銀行営業統括部営業企画課
フリーダイヤル 0120-91-1510

りゅうぎんアプリ
各種残高・明細が確認できる！
振替がらくらく♪
生体認証でかんたんログイン！



ダウンロードはこちらから